



美 唄

B i b a i

## ふれあい健康フェスティバル

7月18日(日)午前10時から午後3時まで美唄総合福祉センターにおいて、美唄保健センターと美唄社会福祉協議会の合同でふれあい健康フェスティバルが開かれました。このイベントは今年から形

式が少し変わったのですが、私にとっては美唄ろうあ者協会と手話の会の毎年のイベント参加でなじみの深いものです。

毎年、美唄歯科医師会が歯科健康相談コーナーを設けて、市民からの健康相談を受けてきましたが、当医師会の会長が恒例のように、長年、雨田前会長が、そして会長が替わられてからは宝崎現会長がそれぞれお1人で激務の中担当してこられました。今年の総会で全会員が交代で担当することが決定され、その発言者の私が今年の第1回目の担当となりました。

例年とは少し異なり今年から市民の健康測定コーナーの一角で行うこととなったために健康測定の一環と勘違いされて、当コーナーに入ってもらえる人が多く、ちょっとした良い(?)誤算だったのでしょうか。

市の臨職の歯科衛生士と私の2人で当方からのリクエストにより、窓際を仕切りで塞がれたコーナーで相談者に対応しました。

私は相談と口腔内健診、歯科衛生士はTBIを行い、午前10時から12時までが28人、午後12時30分から3時までに34人の相談者がこられておおむね市民の方々には好評だったように思います。

その他は例年どおりと思いますが、おもしろ半分で来られた人や、歯科に不安や不満を持った人もみえて、以前に看護婦をされていたという人の歯科医院での滅菌の現状の説明を求められたり、また、知的障害者の人達の口腔内環境の悪さには憂慮の念をいだかされました。(孫 泰一記)

## こんなに立秋の待たれた夏はない

寒さと大雪で苦労させられた大当たりの冬の後だから夏も大当たりというわけでもないのであろうが、今夏は異常としかいえない。日中どんなに暑くても、夜間から早朝にかけての冷涼さが本道の良い所で、大雪も寒さも我慢できるのに土用の丑の日が2度あったためでもないと思うけれど、

今夏は特有の夜の涼しさが殆ど感じられないまま  
立秋を迎えてしまった。立秋の当日も真夏日で夜も  
寝苦しかった。俳句の季語に“夜の秋”という言葉  
がある。秋の夜は昔からあるというが、夜の秋とは  
夏の土用も終わり近くになるころの夜の涼しさを  
感じとる季節の微妙な変化に情感をふるわせた表  
現とのことで、季語とは、本質よりも変化の兆しを  
素早く言い取るさきがけの言葉であるとのことで  
あるが。一日も早く夜の秋を感じ取りたいと思う  
ことしきりであるのだが。 (雨田 実記)